

○県○市○町○丁目○番○号※4

上記代理人 ○○ ○○ 印

代理人が申請する場合に記載します。この場合、理事長の印鑑の押印は、必要ありません。

連絡先の電話番号 ○○○-○○○-○○○○

○○法務局（地方法務局） 御中

契
印

登記申請書が複数ページになる場合は各ページのつづり目に契印する必要があります。契印は、登記申請書に押した印鑑（理事長が法務局に提出した印鑑又は代理人の印鑑）と同一の印鑑を使用する必要があります。

財産目録の例

(注) 一例です。法人の実情に合わせて作成してください。

財 産 目 録						
平成〇〇年〇月〇〇日現在						
1	資産の部					
	(1) 基本財産金〇〇円					
	内訳					
1	建物	構造	棟数	床面積	単価	金額
	(注) 基本財産の内容が現金であるときには(2)の10の記載方法により、建物であるときは(2)の2の記載方法によります。					
	(2) 運用財産金〇〇円					
	内訳					
1	土地	種類	筆数	地積	単価	金額
2	建物	構造	棟数	床面積	単価	金額
3	附帯設備	種類	構造			金額
4	什器設備	品名	数量		単価	金額
5	貸付金	貸付先	摘要			金額
6	未収金	未収先	摘要			金額
7	立替金	立替先	摘要			金額
8	仮払金	仮払先	摘要			金額
9	証券	種類	枚数	額面		金額
10	預金	種類	預け先			金額
11	現金					金額
2	負債の部金〇〇円					
	内訳					
1	借入金	借入先	摘要			金額
2	未払金	未払先	摘要			金額
3	預り金	預り先	摘要			金額
4	仮受金	仮受先				金額
5	減価償却引当金					金額
6	退職給与引当金					金額
3	差引正味財産 金〇〇〇〇〇〇円					
	(注) 差引正味財産は、「資産の部の合計」から「負債の部の合計額」を減じた金額を記載します。この金額が、「資産の総額」として登記されることとなります。					
上記は、財産目録に相違ありません。						
社会福祉法人〇〇						
理事長 〇〇 〇〇 印						
(注) 証明者は、監事でも差し支えありません。						

委任状の例

委 任 状

○県○市○町○丁目○番○号
○○ ○○

私は、上記の者を代理人に定め、次の権限を委任する。

- 1 当法人の資産の総額の変更登記を申請する一切の件
- 1 原本還付の請求及び受領の件 (注1)

平成○年○月○日

○県○市○町○丁目○番○号 (注2)
社会福祉法人○○
理事長 ○○ ○○ 印 (注3)

- (注) 1 原本還付の請求をする場合に記載します。
2 主たる事務所を記載します。
3 当該理事長が法務局に提出している印鑑を押します。